

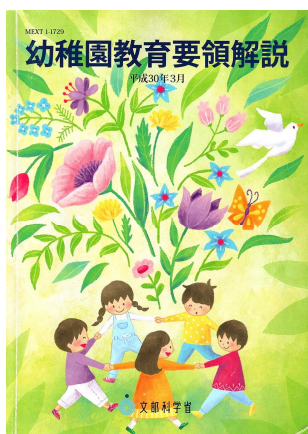
事業説明
幼保小連携の現状について

1 幼児教育・保育支援センター いっぽの業務について

※別添資料2～4参照

2 幼児教育・保育の基本

〈平成 29 年公示〉
幼稚園・保育所・認定こども園、施設類型にかかわらず
共通の「幼児教育」を行う施設
 (学校教育の始まり)



幼稚園教育要領解説

幼保連携型認定こども園
教育・保育要領解説

保育所保育指針解説

【幼児期から 18 歳まで学校教育を通して育む力】

- 知識及び技能(基礎)……………感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりする。
- 思考力、判断力、表現力等(基礎)……考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- 学びに向かう力、人間性等……………よりよい生活を営もうとする。

……………

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え
 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重
 数量・図形、文字等への関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現



【小学校教育との連携・接続にあたっての留意事項】

幼児期にふさわしい教育を通して創造的な思考や主体的な
 生活態度などの基礎を培うようにすること

小学校教育の先取りをすることではなく、
 就学前までの幼児期にふさわしい教育を行うことが最も肝心

「こども大綱」
「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」
～はじめの100か月の育ちビジョン～
(令和5年12月22日こども家庭庁)

- (1) こどもの権利と尊厳を守る
- (2) 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
- (3) 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- (4) 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- (5) こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

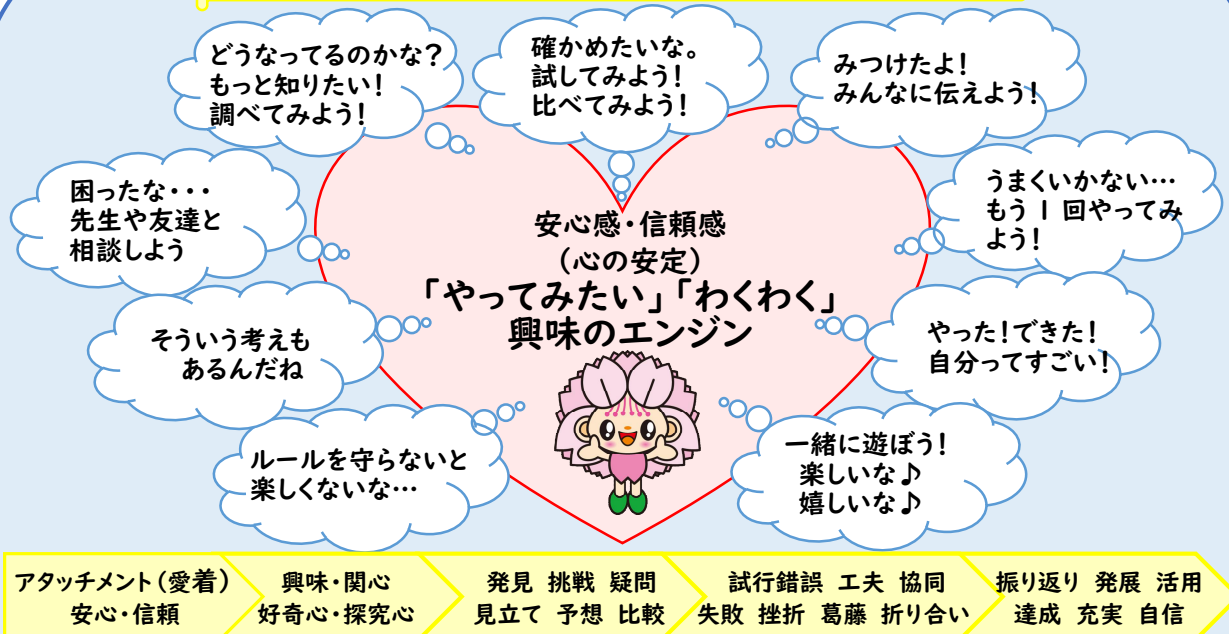
※ウェルビーイング：個人が肉体的、精神的、社会的に満たされた状態。健康、幸福であること。

生きる力の基礎を育む
幼児期にふさわしい質の高い教育・保育
(乳幼児期のウェルビーイング)



受容的・肯定的・共感的に一人一人を理解し、
環境を通した、遊びを中心とした子ども主体の教育・保育

「遊び」は幼児期にふさわしい「学び」



【豊かな経験を育む環境(人・もの・こと)との出会い】

- *一人一人の背景や行動に温かい関心を寄せ、心の動きに応答し、その子らしい見方・考え方・感じ方・関わり方などを理解してくれる先生や身近な人との出会い
- *感情が揺さぶられ、願いや思いを持ち続けて遊び込むことができる環境との出会い
- *思いや目的を共有できる仲間との出会い

【非認知能力(測定(数値化)しにくい力)】

認知能力(測定できる力)の向上の礎となり、かつ、認知能力と絡まり合いながら、連動していく力

自尊感情 思いやり 自制心 やり抜く力 意欲 忍耐強さ
社会性 立ち直る力 創造力 協調性 好奇心の強さ など

3 これからの幼保小連携

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～
(令和3年1月26日中央教育審議会答申)

【子供たちに育むべき資質・能力】
一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年
実施単位	施設単位	地域単位

※出典「令和5年度幼児教育専門研修」文部科学省初等中等局幼児教育課長 藤岡謙一氏「幼児教育の重要性と現状」

不登校に関する調査研究協力者会議 報告書
～今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について～
(令和4年6月不登校に関する調査研究協力者会議)

子どもの発達や学びが連続するよう、幼児教育施設と小学校の教職員が教育課程編成・指導計画作成等を工夫するとともに、子どもが抱えている課題、学習や生活で感じている困難さについて早期に把握し、支援につなげていく必要がある。

4 幼保小連携・接続の取組

- (1) 大村市幼保小連携・接続連絡協議会の開催(年3回)
- (2) 合同研修会の開催
6月5日:小学校校長、幼児教育・保育施設長対象
8月24日:小学校職員、幼児教育・保育施設職員
- (3) 放虎原こども園公開保育
10月29日:指導助言・・・長崎県幼児教育センター指導主事 高田敦氏
- (4) 長崎っこの心をもつめる教育週間の活用(小学校参観)
- (5) 架け橋期(5歳児から小学校1年生の2年間)のカリキュラム基本案作成
- (6) 公立園との共同研究:研究テーマ「育ちと学びをつなぐ架け橋を目指して」

※文部科学省

【動画コンテンツ(7分)】

- Q 遊びは学び 学びは遊び“やってみたいが学びの芽”
～「やってみたい」から始まる学びの芽
(知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力等)の育成～

【参考資料】

- Q 幼児教育と小学校教育がつながっているってどういうこと?

